



九州大学

Press Release

2015/07/24

株式会社インフォキューブ LAFLA

国立大学法人九州大学

国際学会にてインフォキューブ LAFLA と九州大学が 共同で人流解析実証実験を実施

株式会社インフォキューブ LAFLA（本社：横浜市中区 代表：宥免達憲）は、九州大学大学院システム情報科学研究院峯恒憲准教授研究室と共同で、国際学会 AAI2015^{*}（4th International Congress on Advanced Applied Informatics）においてスタッフ間の連携最適化と人流データを用いた研究開発向けデータ取得を目的とした実証実験を行いました。

同実験のデータ収集には、（株）インフォキューブ LAFLA の位置行動解析システム「GeoSTRATOS ジオストラトス」を利用。Beacon^{*}を用いてスマートフォンの現在位置を高精度に検出し、屋内外においてリアルタイムにスタッフの位置を把握。効果的なスタッフ間連携を可能としたほか、短期間のイベントでも1～2時間での設置が可能であること、コンベンションセンターのような大規模施設でも高精度な人流データの取得が可能であることを実証致しました。当該人流データは、九州大学峯准教授をはじめとした研究グループにより様々な研究への活用が見込まれています。

なお、今回の取り組みの一部には、International Institute of Applied Informatics (IIAI)の協力と、SSR 産学戦略的研究フォーラムの平成 27 年度調査研究の支援を受けました。

※ AAI2015：岡山コンベンションセンターにて開催された国際学会（2015年7月12日～16日）

※ Beacon：Bluetooth Low Energy（BLE）等を利用した電波発信装置

■ GeoSTRATOS ジオストラトスによる人流解析の様子

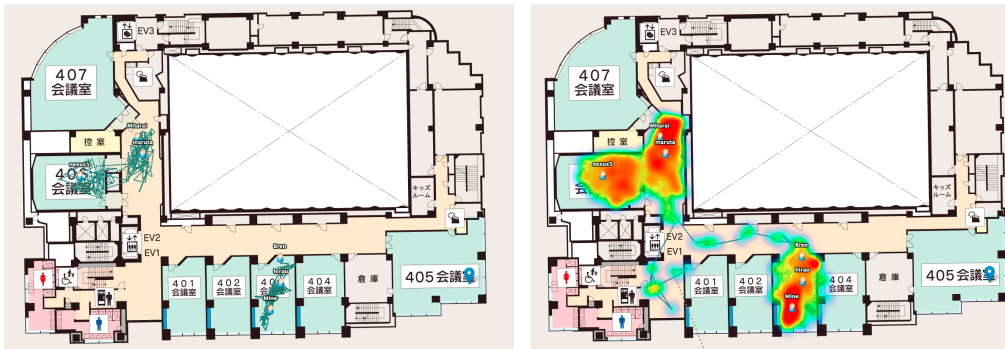


図 1：動線解析とヒートマップ

スタッフの現在位置や動線を把握することで、業務改善やスムーズな連携を可能に。

■ 会場内でのリアルタイム分析の様子

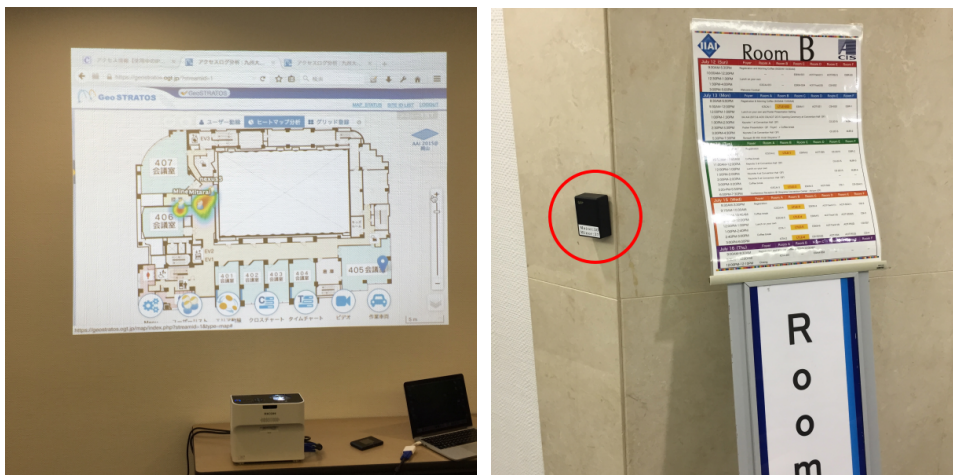


図 2：リアルタイム分析の掲示と会場内に設置した Beacon 装置の例



図 3：実証実験会場の様子

国際会議等のカンファレンスにおいて、主催者をはじめとする運営スタッフは会場提供者、イベント会社、参加者との間で様々なやりとりが発生します。また同時に、会議の司会進行を務めたり参加登録業務など接客業務を行うため、会議中の電話のやりとりは望ましくありません。このような状況の下、運営スタッフの現在位置をリアルタイムにプロジェクターに掲示しておくことで、所在を即座に特定し、突発的な招集や伝言もスムーズに行うことが可能となりました。また、スタッフの偏りや人通りの多いエリアを把握することで人材と設備の最適配置が可能となり、今後の活用が期待されます。

■本件の問い合わせ先

【株式会社インフォキューブ LAFLA】

福岡オフィス (AAI2015 での測定について)

TEL : 092-986-4662

HP : <http://www.lafla.co.jp>

横浜オフィス

TEL : 045-228-2203

HP : <http://www.infocube.co.jp>

【国立大学法人 九州大学】

九州大学大学院システム情報科学研究院

准教授 峯 恒憲 (みね つねのり)

Email : mine@ait.kyushu-u.ac.jp

■株式会社インフォキューブ LAFLA について

株式会社インフォキューブ LAFLA は、ビックデータによるマイニング技術、O2O 効果測定技術、高度統計処理に基づいたレコメンド技術などを活用し、人流解析分野に必要な統合分析プラットフォームの構築を進めており、今後の急速な IoT 化を見据え WEB マーケティング分野 (WEB 行動解析ソリューション「SiteSTRATOS サイトストラトス」の提供) から工場プラント向け行動解析分野 (位置行動解析ソリューション「GeoSTRATOS ジオストラトス」の提供) まで、大手企業を中心に総合的な業務分析支援を行っております。

■リアルタイム人流解析システム「GeoSTRATOS ジオストラトス」について
屋内外での GPS/Beacon 位置推計エンジンをベースとした人流・行動を解析するリアルタイム位置行動解析ツール「GeoSTRATOS ジオストラトス」を提供。商業施設向けクーポン配信可能なパッケージや工場向けパッケージ、EC 向けパッケージ等を順次リリース予定。

以上